

## 質問回答

2016年9月12日

「(案件名)ウクライナ国金融セクター調査」

(公示日:2016年8月31日/公示番号:160606)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	14 ページ (7)関係官庁・機関	国営銀行 3 行があげられていますが今回、中心となる調査対象行という理解でよろしいですか？	「金融セクター調査」なので「中心となる調査対象行」ということではなく、国営銀行に聴取するならば、国別研修への参加者がいた、この3行であれば、聴取しやすいと考えております。
2	16 ページ (2)フォローアップ・ワークショップ	フォローアップ・ワークショップとして第1回国別研修参加者へのフォローアップとなっていますが、第1回国別研修の研修項目、内容について簡潔に教えていただけないでしょうか？	以下のとおりです。  1.研修コース名:政府系金融機関および財政投融资の役割  2. 研修の目的 研修員一行は、日本の政府系金融機関、財政投融资制度、民営化した政府系金融機関などを訪問し、ウクライナ国営銀行と民間銀行の共存を図る上で、日本の政府系金融機関と民間金融機関の共存の現状について学びました。  3.研修参加者 計 10 名 (内訳)

			<p>ウクライナ財務省(金融機関政策局長、大臣アドバイザー、信用保証関連課長)</p> <p>中央銀行(金融安定局長、国有銀行考査課長)</p> <p>国営銀行(Ukreximbank 筆頭副総裁、Ukrgazbank 副総裁、Oschadbank 債権整理回収局長)</p> <p>Rada (最高会議(国会)) 産業政策・中小企業委員長と金融政策・銀行委員会委員</p> <p>4.日程 7月25日(月)~29日(金)</p>
3			
4			
5			

以上